タイピックだより

4月号

2019.3.20 発行　Vol.76

日差しがやわらかい季節になりました。うららか、のどか、暖かなどの春の言葉にはどこかやさしい響きがあります。明治・大正期の俳人、大須賀 乙字の句「蚊帳釣草(かやつりぐさ) 逞(たくま)しうなる 四月かな」とあるように、この頃になると、芽吹いた草木が、日に日に逞しく生長します。色鮮やかな花が次々と咲き誇り、生命の躍動と光溢れる季節に自然と心も浮き立ってきます。

春はお花見の季節ですが、桜の見頃が終わり葉桜に変わると物哀しい気持ちになってしまうという方は、桜以外のお花見をしてはいかがでしょうか。ツツジ、藤、芝桜など、これから見頃というお花は沢山あります。家族や友人とのお花見も良いですね。暖かな春に美しい花をうっとりと眺める。そんな休日を過ごせば気分もリフレッシュできますよ。

「うっとり」と「うっかり」という言葉は、元々は同義語、同じ意味の言葉だったそうです。今は大きな違いがありますね。心は浮き立っても、「うっかり」失敗しないように、仕事などの必要な場面では緊張感を持って丁寧に確実に行動したいものです。

珈琲所 コメダ珈琲店®

益田あけぼの店

益田市あけぼの西町 9-13

☎0856-25-7766

昼コメ しませんか?

くつろぎの場所日本一を目指します。
何時間おられても笑顔でお応えします。

店舗限定

お好きなドリンクご注文で 昼コメプレート

平日限定 AM11:30～PM2:00まで

たまごとまレタスサンド ※トイトはハムに変更できます。

A ●たまごとまレタスサンド ●6種類の野菜サラダ ●コメチキ2個 ドリンク料金＋500円

B ●たまごとまレタスサンド ●6種類の野菜サラダ ドリンク料金＋430円

小倉ホイップサンド

C ●小倉ホイップのサンド ●6種類の野菜サラダ ●コメチキ2個 ドリンク料金＋500円

D ●小倉ホイップのサンド ●6種類の野菜サラダ ドリンク料金＋430円

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号

Tel. (0856) 23-2800㈹ Fax. (0856) 22-5592番

http://www.typic.jp

社長のつぶやき

凡そ人一日この世にあれば、一日の食を喰らい、一日の衣を着、一日の家に居る。なんぞ一日の学問、一日の事業を励まざらんや

「あなた方は大それた密航を企み、こうして捕まっているのだ。何も檻の中で勉強しなくてもいいではないか。どっちみち重いおしおきになるのだから」

「ごもっともです。それは覚悟しているけれども、自分がおしおきになるまではまだ時間が多少あるであろう。それまではやはり1日の仕事をしなければならない。人間というものは、1日この世に生きておれば、1日の食物を食らい、1日の衣を着、1日の家に住む。それであるから、1日の学問、1日の事業を励んで、天地万物への御恩を報じなければならない。この儀が納得できたら、是非本を貸してもらいたい」

2月24日に山口県柳井市上関町にある上関城山歴史公園で満開の桜まつりを見て「山陽方面では、こんなに早く桜が咲くのかと」感動して帰ったが、益田では3月中旬でも早朝出勤する時に、フロントガラスが凍っていることが多々ある。

そんなある朝、エアバイクで運動しながら致知出版社発行の『人生を創る言葉』渡部昇一著を読んでいたらこの言葉に出会ったのだ。

これは吉田松陰先生が、海外渡航を企て、牢にいれられた時のことである。自分の将来は長くないと思いながらも、学び続ける姿が浮かんできた。

この章の締めには「吉田松陰が死んでからのことをどう考えていたかはわからない。だが、少なくとも生きている間は天地に恥じないように、何かに努めなければならないという心境だったのであろう。それは生きている間は、1日の食事を摂って、1日の住み家にいるわけだから、そのことに対して恩返しをしなければならないという考え方から出てきた心持であったようだ。これは尊い生き方であると思う。」とある。

今年、すでに松陰神社へは2度参拝させていただいたが、3月31日(日)午前7時より松陰神社立志殿において開催される萩市倫理法人会モーニングセミナーに福島県倫理法人会の方が数名が参加されると聞いたので、出かけてみたいと思っている。

福島と言えば東日本大震災を思い出す。今朝、山陰中央新報を読んでいたら宮城県南三陸町の「南三陸ホテル観洋」の被災地めぐりバスのことが書かれていた。ホテル観洋には数度宿泊したことがあるが、思い出すのは震災後1年が経過した3月末にホテル観洋でマッサージの男性が「母親と仮設住宅に住んでいるが、こんなに辛いことになるなら震災のとき死んだ方がよかった」と話されたことだ。南三陸のさんさん市場は最近訪問者が少なくなり苦労されていると聞いている。4月に震災後9度目の訪問を計画しているが、亡くなられた方々のご冥福を祈りながら訪問したい。

わが社のほっとニュース

益田市社会福祉協議会へ寄付金を贈りました

パソコン教室内で販売している野菜や、深山せんべい・楓ジェラートの収益を、2月28日に益田市社会福祉協議会に寄付させていただきました。

当日は、社会福祉協議会の末成弘明会長にパソコン教室までご足労戴き、生徒代表として加治量實さんから手渡していただきました。

寄付金は、社会福祉協議会を通じて、「益田市身体障害者福祉協会」に贈られました。教室では、こうした活動を通して社会貢献活動も行っています。

社内木鶏会 致知の感想

特集 志ある者、事竟に成る　大谷 宏明

この文章を読んで感じたことは、天文学的や科学的もしくは宗教的にどうにかなることではなく、こつこつ努力することや、本人の志によって結果が出てくることを証明しているのではないかということです。稲盛さんのJALの再生も、会長就任後現状をよく見て無駄をなくし、かつ自らは無給で取り組む姿に社員は本領され気持ちも動かされ、このような結果が生まれた、それはトップに立つ人間の生きざまによって生まれてきたのだと思います。伊能忠敬も年齢は50代になってからですが、自分の志の高さが、スーパーコンピューターとの誤差が僅か0.1%という驚異的な地図の作成を実現したのだと思います。

自分に置き換えて考えますと、少しでも適当な気持ちで仕事や家庭生活等に取り組む人には結果はいいように生まれないと思います。稲盛さんも伊能さんも自分ではなく、世の為人の為にと思い、志を高く持ちこのような結果をもたらしたのではないでしょうか。

稲盛さんは、JALの再生時にはホテルでコンビニのおにぎりを食べていたと聞いたことがあります。普通、会社の会長が、このような晩御飯は考えられるでしょうか。稲盛さんのように、いきなりこのような立場に立たされても、大きく振る舞うのではなく、常に謙虚に生き、自分を見失わずに何のために今を過ごしているのか、もう一度色々な視点から考え直し、世の為人の為を志に生きていきたいと思います。

すべては恩返しのために　村上 貴志

今回の致知を読んで感じたことは、自分の中に明確なビジョンを持ち、そのビジョンに対しての志をしっかりと持ち続けていくことが、物事の成功につながるのだということです。何を自分の中の志にしていくのかをしっかりと考え行動することによって、自分の成長、また企業の成長へとつながっていくのだと感じました。松下氏は、明確な目標を小学生の時に見つけ、それに向かって何をしないといけないのかを考え続けたからこそ、成功につながったと思います。会社においても、今は明確なビジョンをあげ、それに向かってどうしたらいいかをしっかりと考えていく事が大事だと思いました。個人においても、自分の中のビジョンに対して、どうしたらいいのかをしっかりと考えなければ、今のままではいけないと感じました。そのためには、色々と学び、自分の中に取り入れて、最善な物を見つけていく必要があると思い、まだまだ学ばなければいけないと思いました。

誕生日の決意

益田教室　清水 壮一

長男の大学受験が済んでほっとしているところです。

息子はこれから始まる新しい暮らしに思いをはせながら新生活の準備を進めています。初めての土地、新しい環境、新しい出会い、自分のやりたいことへの想いなどの気持ちを察すると、自分が同じ年だった頃を思い出します。妻とも当時の思い出話になったりして、こちらも気持ちが少し若返った気分です。

自分自身はというと、日々のせわしさと体力の衰えで、毎日を何とかやりくりしているような状態。椎名誠のエッセイに「上り坂の男と下り坂の男の勝負」という言葉がありましたが、まさに同じ状況だなと苦笑いをしています。

それでも、その長男の周りに吹いている追い風の勢いを借りて、10年後のための何かを準備していこうと思う今日この頃です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

廿日市教室　今田 直美

平成最後の誕生日を無事に迎えることができ感謝です。そして誕生日から半月もたたないうちに新しい年号になります。あっという間の一年でしたが、「もう」と思わず、「まだ」と思って向上心をもって、日々感謝の心を忘れないようにと思っていますが、まだまだ未熟な私です。

まわりの同級生をみれば、「家を新築した」「子どもが中学に進学する」「老眼になった」また、「結婚の早かった友人は、「孫が生まれた」と様々です。私はといえば、何か大きな変化はあったかなと考えると思いあたることは特になく、少しでも成長できたのだろうかと反省してしまった一年となりました。

年を重ねる度に親のありがたみがすごくわかるようになりました。昔はやってもらって当たり前みたいなことを思っていた自分が恥ずかしく思います。大したことができませんが、出来るだけ沢山の親孝行をしていこうと思っています。

そして、健康で楽しく自分らしく一年が過ごすことが出来るよう、心がけていきたいと思います。

益田・浜田・廿日市・萩・宇治　5教室合同開催

写真コンテスト プラス フォト575・水彩画・おえかき 2019

益田浜田廿日市
萩 宇治
5教室合同開催

ゆっくり やさしい パソコン教室
同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします

投票結果発表!!

写真部門

タイピック賞
「ひまわり娘」
井口 美智子さん（廿日市）

社長賞
「稲刈りお手伝い」
杉原 百合江さん（浜田）

教室賞受賞作品

写真部門　応募 92 作品

「整列！前にならへ！」
安野 正徒さん（益田）

「一日の終わり　」
清水 千恵子さん（益田）

「日本最西北端　川尻岬」
山根 正次さん（萩）

「なあ～に？なんだろう？」
植木 眞由美さん（益田）

「逆さ銀杏」
大畑 トシ江さん（浜田）

「散歩道の風景」
新内 雅子さん（益田）

フォト575 部門

タイピック賞
「丁度いいお家」
藤井 美喜枝さん（益田）

社長賞
「冬晴れ」
岸田 幸子さん（益田）

教室賞受賞作品

フォト575 部門　応募 39 作品

「天空の鏡」
富永 正裕さん（宇治）

「SL 二重連」
安野 正徒さん（益田）

「夏の蝶」
竹内 昌子さん（益田）

「越後湯沢の秋」
田原 寧枝さん（益田）

「もみじ」
渋谷 博仁さん（浜田）

「いたずらイノシシ」
大賀 一人さん（益田）

「つる七羽我が田んぼにて
ひと休み」大庭 乾次さん（益田）

ワードでお絵かき 部門

タイピック賞
「美人画（うらら）」
杉原 百合江さん（浜田）

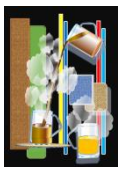
社長賞
「水木先生と仲間たち」
尾木 洋子さん（益田）

教室賞受賞作品

おえかき部門　応募 15 作品

「歌舞伎 源氏物語」
森 京子さん（浜田）

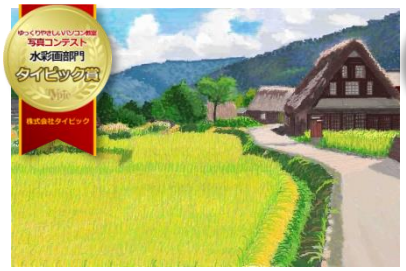
「風に、さそわれて」
武岡 誠子さん（廿日市）


「ファンタジーの
飲み物いかが？」
両見 省吾さん（益田）

「深い森の先に…」
川上 とみ枝さん（益田）

「トランプ大統領＆金正恩」
片島 和夫さん（廿日市）

水彩画 部門



タイピック賞
「ずっと眺めていたい田舎の風景」
佐藤 ひろ子さん（廿日市）

社長賞
「千晴のお散歩」大里 睦さん（益田）

教室賞受賞作品

水彩部門
応募 12 作品

「道祖神のある風景」
森 京子さん（浜田）

「上手に撮ってね
1＋1は、にっ(2)」
尾木 洋子さん（益田）

「焼き芋屋台」
杉原 百合江さん（浜田）

「幻の富士」
山本 美都恵さん（廿日市）

「熱い・暑い舞」
藤井 美喜枝さん（益田）